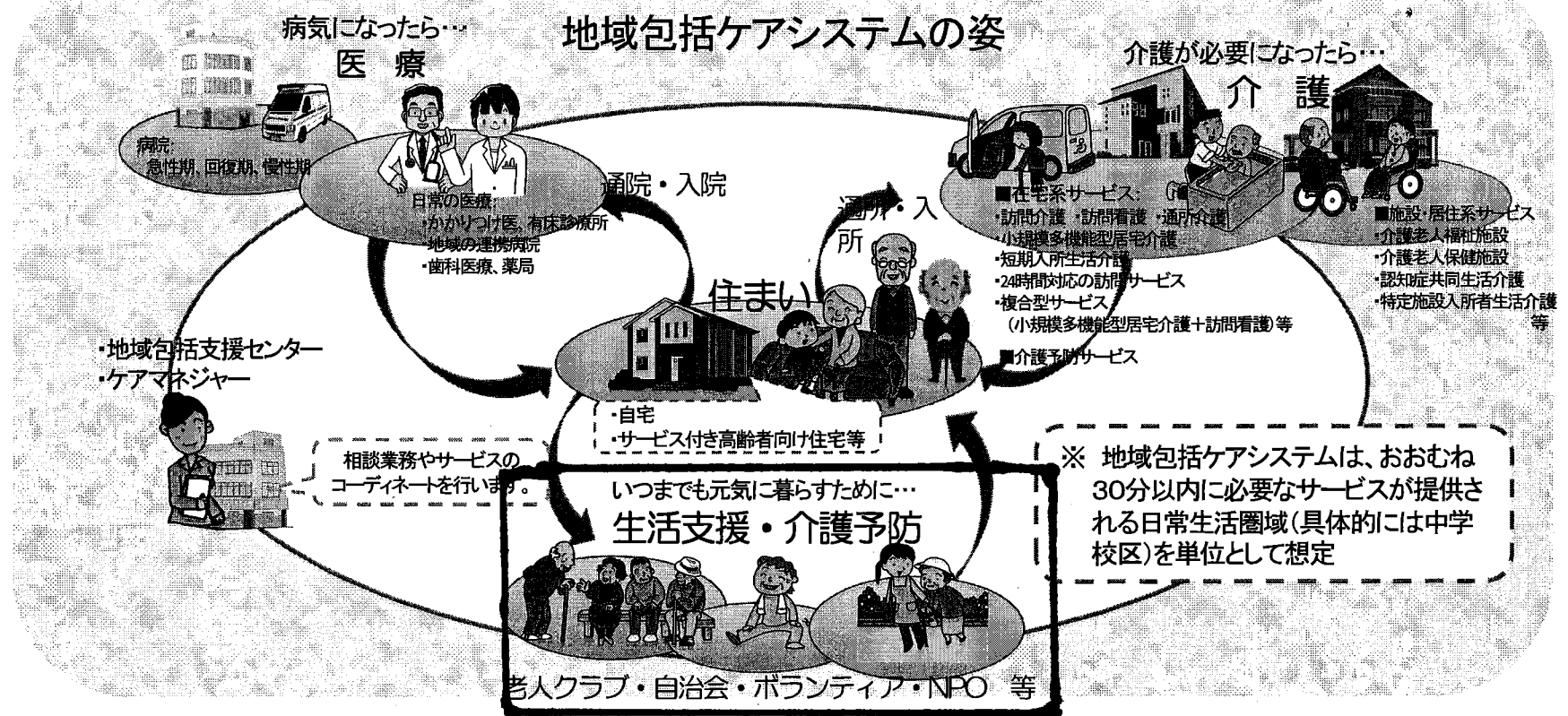


地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差。
- 地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。



敬老会対象者数の推測値 (笹木慶之議員の推測値)

| 西暦 | 人数 | 2018年からの増加数 |
|-------|--------|-------------|
| 2025年 | 13,883 | 2,646 |
| 2024年 | 13,505 | 2,268 |
| 2023年 | 13,127 | 1,890 |
| 2022年 | 12,749 | 1,512 |
| 2021年 | 12,371 | 1,134 |
| 2020年 | 11,993 | 756 |
| 2019年 | 11,615 | 378 |
| 2018年 | 11,237 | 0 |

※2018年の敬老会対象者数(11,237人)から2019年に75歳になる人(711人)を加え(毎年)、2018年の75歳以上の死亡者数(333人)を減じて(毎年)算出しています。

※2018年の敬老会対象者数(11,237人)【2018年7月1日現在】
→2018年4月1日現在における住民基本台帳に登録された満74歳以上の方のうち、2018年7月1日現在生存している方の人数

2018年の敬老会対象者数(11,237人)【2018年7月1日現在】の地区社会福祉協議会ごとの人数

| 校区 | 人数 |
|--------|--------|
| 本山 | 549 |
| 赤崎 | 861 |
| 須恵 | 1,492 |
| 小野田 | 1,054 |
| 高泊 | 789 |
| 高千帆 | 1,791 |
| 有帆 | 764 |
| 厚狭 | 1,800 |
| 出合 | 485 |
| 厚陽 | 514 |
| 埴生・津布田 | 1,138 |
| 合計 | 11,237 |